

けいじばん

○次回活動日のご案内；10月29日日曜日、県立中央博物館植物学研究科吹春俊光先生をお招きし豊英島きのご観察会。雨天決行。清和県民の森第一駐車場9時40分集合。携行品：安全な服装と靴、雨具、手袋、あれば図鑑・カメラ、サンプル袋、弁当・飲み物、お椀。午前中観察会、昼食後同定と解説（雨天の場合は県民の森）

○伐木造材作業研修；11月19日日曜日、実施要領は次頁。受講者には里山センターより研修案内郵送。

○里山センター技術研修；10月21日（土曜日）里山センター（袖ヶ浦市長浦）で実施される「安全の基礎知識」は森の活動参加者に特に有益な研修です。受講希望者は上記事務局アドレスに連絡下さい。参加費無料。

かつどうのきろく

10月9日月曜日 快晴 参加会員18名、ちば里山センター森事務局長

秋晴れの清々しい青空のもと、まず鈴木安全委員の指導でストレッチ体操10分間、固い筋肉をほぐし、さわやかに活動開始。

○伐採木選木；今年度内に伐採が必要な樹木の選定を行い、黄色テープでマーキングした。また伐採木の周辺にあり、伐採作業を妨げやすいが、保存が必要な木に赤テープ。マダケ林20本、巨木林15本、ほこら山2本。11月19日研修日の実習伐採木は巨木林15本の中から講師が選定する。



（伐木候補に黄色テープ）



（快晴の千年の森）

○栽培きのご班；現在設置してある「ほだ場」の確認と新たにロットNo標識設置を行った。またきのご収量調査票の書式を更新した。（班メンバーには配布）この日はきのこの収穫無し。

○きのこ観察；豪雨の後にもかかわらず、期待に反して豊英島は乾燥していた。それでも10月を代表するウラベニホテイシメジ、サクラシメジは発生間もなく、いずれも若々しかった。ミヤマザラミノヒトヨタケ、カラカサタケの幼菌はマムシが首をもたげたような形で目をひいた。帰途中央博に立ち寄り吹春先生に同定をお願いし、8種を同定。今年度同定・標本作製いただいた「千年の森きのこ」は延べ63種。今月29日のきのこ観察会では千年の森にきのこ発見の歓声が絶えないことを期待。

昼食には千年の森定番のきのこ汁、具はウラベニホテイシメジと根菜、サクラシメジは昼食後発見のため間に合わず残念。

○コナラ林萌芽の芽掻き；コナラ更新林は伐採後3年を経過したので、芽掻きを実施した。切り株の萌芽更新は、継続調査をしていた3株のうち2株が枯死してしまい、萌芽枝の生存率も23%と成績が思わしくない。原因は、樹齢が老齢（50年以上）、照度が不足気味、土壌条件が厳しいなど、さまざまな理由が考えられるがはっきりとしない。萌芽枝は3年をめどに、5、6本に整理し、最終的に3本に仕立てるのが一般的であるので、生存している株については各株の萌芽枝を6本にする芽掻きを実施した。実生苗については別途報告。



（萌芽6本残して芽掻き）



（自動撮影デジカメ）

○シカ班；祠山北東の栽培きのごNo.302杭下の湖岸（「便り」34号に掲載されたシカの上陸地点？）に動物の赤外線を感じて自動撮影するデジカメを設置した。設置位置は湖岸から約5m離れた木の幹で、上陸地点とそこから島に登るシカ道が撮影できるよう調整した。さあ、うまくシカが写るか？

目撃情報：村野さんが小型のシカ1頭を目撃。

○11/19 研修打合せ（役員・安全委員&里山センター森事務局長）；概要は以下の通り。

11月19日技術研修「安全な作業Ⅲチェーンソー・伐木造材作業」実施について

詳細はちば里山センターより受講申込者に郵送されます

1. 日 時	平成 18 年 11 月 19 日（日）10 時～15 時 雨天中止（ただし、小雨は決行）、中止の場合は代替日を別途設定（多分年明け）
2. 場 所	豊英島
3. 開催主体	主催；ちば里山センター 共催；ちば千年の森をつくる会 受講者は千年の森から 16 名、その他鴨川の団体等から 7, 8 名。
4. 講 師	千葉県林業サービスセンター 木村正敏氏
5. 研修内容	広葉樹の伐木・伐倒が主テーマ、牽引具使用による伐木が主体。ロープによる人力牽引も含める。 伐木は原則チェーンソー（チェーンソー貸与あり）。なお、出来るだけ受講者全員が伐木を体験できるようつとめる。造材は研修として必要な範囲とする（残は当会で別途処理）。
6. 選 木	10月9日選定木のなかから当日講師が選定。
7. 携行品	受講者：ヘルメット、安全な服装と靴、防震手袋、ゴーグル、耳栓、笛（あれば）チェーンソーおよび工具、くさび、ロープ、巻尺。その他必要な道具類は両センターで手配する。
8. 集合等	スタッフ（講師、里山センター）：9 時、ダム管理事務所前集合（車 2 台） 受講者：9 時 30 分、清和県民の森第一駐車場集合（千年の森をつくる会で現地へ輸送）
9. その他	受講者以外の会員若干名に当日研修サポートのため入林をお願いする。

受講予定者は次の 16 名です。森忠良 森池正典 山脇末隆、高橋忠友、坂本彌、真鍋昌義、新井孝男、鈴木 敦、白井哲也、小又 哲、五十嵐弘次 久我哲也、久我則子、村野忠夫、長村雅文、苅米均。
受講予定者には里山センターから「研修案内」が郵送され、所定の保険をかけ、会は受講料を里山センターに支払います。
受講を辞退する方は、10月20日までに千年の森事務局アドレス宛メール又は電話連絡下さい。その後、受講出来ない事情が生じた場合は可及的速やかに連絡下さい。

（豊英島ニュース）

☆巨木林の一角に、クリのイガがいっぱい落ちています。最近の落下のようです。不思議なことにクリの実はずっぽ。ひとかけらだけ渋皮つきの鬼皮が残っています。味覚の秋を満喫したのは誰でしょう？サル？リス？？

☆9月18日巨木林に発見したアキノギンリョウソウは跡形も無く消え失せています。図鑑によるとこの植物は花期を終えると固い「蒴果」が残るはずですが、どこに消えたのでしょうか？



（東館嬢退会のご挨拶）

私は今年度から、社会人となり分析業務を行っています。君津から通っていますが、なかなか自由な時間が取れなくなってしまい、「千年の森」から遠ざかってしまっているのが現状です。この会には、高校生の時からお世話になり、右も左もわからない私を仲間に入れて下さったことを、とても感謝しております。有難うございました。今回をもちまして退会させていただきたいと思っております。皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

06年10月7日 東館緑